

京都支部だより

さわやかな風と共に秋の到来！

京都支部の皆様、お変わりありませんか。

しばらくお休みをしていました HP 上でお目にかかります。ようやくコロナ感染者数も減少し収束の兆しがかすかに見えてきたように思います。第 6 波が来ないように日常生活に注意して乗り切りたいものです。

本年 4 月以降、コロナ感染緊急事態宣言下にあつて、京都支部の活動にも待ったがかかり

会員同士、お目にかかる機会がありません。皆様におかれましては、自粛期間中にこそできる楽しみを見つけ

英気を養っておられたことと思います。

このような中ではありますが感染対策厳戒中のウイングス京都で 2021 年度の奨学生選考委員会を開催しました。

### **9 月 9 日 (木) 13:30~15:30 奨学生選考委員会**

以下の 3 部門のうち一般奨学生のみを対象に審査しました。(いずれも氏名、大学名は省略)

1. 一般奨学生 (応募者 5 名) のうち次の研究課題の 3 名の方を推薦しました。

#### **研究課題**

○ガダマーの地平融合とクーンの 『パラダイム』 総合的解釈：「理解」理論の構築

○DNA 免疫法による狂犬病ウイルスに特異的な卵黄 IgY 抗体の調製

○環境化学物質がヒト脳形成に及ぼす影響の分子機序解明—スクリーニング系確立を目指して

2. 社会福祉 (1 名)

○成人先天性心疾患患者の職業選択の経験

3. 安井医学賞 (2 名)

○3 次元培養で分科誘導した ips 細胞由来 invariantNKT 細胞を用いた新規がん免疫療法の開発

○呼吸器悪性腫瘍術後患者における開胸術後 鎮痛症候群ならび外傷後心的成長の実態調査

\* 社会福祉と安井医学賞は支部の選考を経ずに直接本部へ送ります。

\* 選考資料 1 履歴書・自己紹介書、2 大学側の推薦書、3 研究の内容について (研究の内容、研究計画と研究方法、期待される成果、研究の魅力、将来の抱負)、4

### 選考会を終えての感想

当日選考委員 7 名は、詳細に書かれた応募提出書類を丁寧に時間をかけて目を通してその後の選考に臨みました。

選考委員はいずれの分野においても専門外ではあり、難しいテーマに頭を悩ましながら、各自の知見や経験等から真摯に選考に当たりました。甲乙つけがたいものばかりでしたが最終的に推薦枠の 3 名の方を選びました。

今回の応募者は 23 歳から 38 歳と幅広く、子育てとのバランスを取りながら研究生活をしている方、一度社会人として働いたのち研究に戻られた方もおられました。皆さん、前向きな姿勢で研究成果を社会のために生かしたいという志の高い方々ばかりでした。JAUW が主催するこの事業にも積極的に賛同されていました。

### 第 1 回役員会を開催。(奨学生選考委員会終了後に実施)

#### 1. 久保会長から報告事項・事務連絡。

##### 1. 本部からの連絡事項 オンライン開催の本部事業

9/11 「今アフガンを考える」

9/12 2019 年度 JAUW 国内奨学生報告会

9/19 第 3 回会勉強会+ZOOM

「外国にルーツのある子ども達の教育の現状と課題」講師：石井恵理子氏

9/29 第 10 回 J カフェ+ZOOM

「私が理系を選んだわけ、そしてその後」講師：岩村道子氏

10/16 神奈川支部公開講演会+ZOOM

国内奨学生応募生の話を聞く会

11/14 2021 年度全国セミナー 教育・ジェンダー・共生

◎「災害の記録を繋ぐ」冊子を作成中、広く会員からの原稿依頼

##### 2. 京都支部の今年度の活動について

現在コロナ感染緊急事態宣言が発令中のため例年通りの事業はやむなく中止している。

今後はコロナの感染状況を見ながら弾力的に考えていく。(秋の例会、新年会、2～3月例会等)

会員同士で電話やメールなど交流を図っていききたい。

なお、当日の会場のウイングス京都の正面玄関はクローズされており、一般利用者はなく事前予約の団体に限って会議室の使用は許可され、閑散とした寂しい状況でした。

9月11日開催の「今アフガンを考える」オンラインによるセミナー（ウェビナー）に参加しました。（感想）

最初に桐生佳子さん、中道貞子さん、そして西垣敬子さんの3人が長年にわたるアフガニスタンとの交流、支援活動について講演されました。

政情不安の同国に何ができるのか、9月9日には、国外退避を求めるアフガニスタンの人々を受け入れるように外務省に申し入れするなどできることは何でもやろうと呼びかけられました。

オンラインでのセミナーに約300人が参加されたということでした。資料もたくさん用意され大変有意義な会でした。

ZOOMを使用したセミナーや会議などはコロナ禍をきっかけに大流行です。遠距離を一挙に解消するこの形式は今後も益々増えることでしょう。皆様、ZOOMのやり方はすぐ覚えられます。不安な方はお問い合わせください。（書記 中川慶子）

—